

高西地区 から こんにちは
今月の 気になる人

四万十町の食材を
たくさんの人に知ってもらいたい！
井上 佳奈さん (31)

北海道札幌市出身の井上さんは現在、四万十町地域おこし協力隊として1年半前から活動されています。四万十町の自然豊かな気候や人柄が好きで移住を決意したそうです。

井上さんは仁井田、影野地区の地域づくりというミッションを担当されており、「仁井田米や四万十町の食材を町外の人に知ってもらいたい！」という思いから、道の駅あぐり窪川に7月からおにぎりとコーヒーのテイクアウト専門店「青いしろくま」をオープンしました。青いしろくまは、おにぎりとコーヒーという新しい組み合わせが魅力のお店です。お米は仁井田米を、具材は四万十うなぎや四万十ポーク、ショウガの佃煮など四万十町の食材を使用。お米は仁井田米そのものの香りや味を楽しんでもらえるよう、塩や海苔を使っていないことがこだわりだそうです。

井上さんは「これからも四万十町をPRし、盛り上げていきたい」と話されていました。これからも四万十町での活躍、応援しています！



Instagramも
チェックして見てね♪



大野見に来て良かった♪
マノン エレメンシエンさん (31)

フランスのレユニオン島出身の笑顔が素敵のマノンさん。大学時代はオーストラリアで過ごし、日本に来られて6年目になります。東京に1年間留学をした際に「人が優しく、安全な日本で暮らしたい」と思い、日本でのワーキングホリデーを始めたそうです。

自然や田舎が大好きで、「大野見は山や川があるので暮らすのがとても楽しい」と笑顔で話してくれました。レユニオン島もフランスの中では方言があるみたいなのですが、「土佐弁はほんとに難しい、聞き取れるようにはなったけど喋るのはもっと難しい！」と方言に苦戦をしているようでした。

マノンさんの好きな日本食は、、、「かつ丼」みたいです♪ 「田舎のおばあちゃんが作る日本食もおいしい」と日本の味を堪能しています！これからも自然いっぱいの大野見での生活を楽しんでくださいね♪



船戸地域を盛り上げるで～！

- 左から ちづさん(75)
- まーくん(61)
- えっちゃん(82)
- といちゃん(85)
- みえちゃん(62)

夏も本番を迎える8月。津野町船戸で活動する『船戸活性化委員会』を訪問しました。四万十川源流点に位置する船戸地区は、平成22年に船戸小学校が閉校したことをきっかけに、地域を元気にするためのイベントの開催、特産品の開発・景観保全・施設周辺の草刈りのほか、高齢者宅の粗大ごみの代行処分など福祉事業も行っています。

この日は、月一度のリフレッシュサロンの日ということで、お忙しい中お話をうかがいました。「なんとか地域を盛り上げていきたい」と口を揃える皆さん。すぐそばには、満天の星やせいらんの里があり、最近は公園も完成。「草の管理も大変よ」と口にしながらも、その顔からは常に笑顔がこぼれます。

少子高齢化の進む中、船戸地域を益々盛り上げてください！

※イベント等の詳細は、津野ぶらで検索



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 四万十地域 四万十地区女性部 役員が津野山地域を視察



熊田さんのハウスで甘とうについて説明を受けました。

7月15日、四万十地区女性部役員が津野山地域の視察を行いました。津野町観光ガイドの熊田光男さんを迎え、津野山営農経済センターで氏原課長より出荷物の説明を受けた後、熊田さん本人の甘とうの圃場を見学しました。その後、榑原支所や津野山地域の観光地を回りました。女性部からは「地域のことを改めて知ることができ、とても勉強になり良い研修になった。」との声が聞かれました。今後は津野山地域だけでなく、各支所巡りも検討していく予定です。

3 四万十地域 農業用コンテナで ショウガ作りに挑戦



子供たちがコンテナ生姜の土を補充しています。

四万十生姜研究会と四万十営農経済センターは7月12日、四万十町立窪川小学校の3年生に農業用コンテナを使った「コンテナ生姜作り」の授業を行いました。今年は5月6日にショウガの植え付けを行い、40日程で芽が出たことを確認しました。現在は草丈が約50〜60cmに成長しています。子供たちは雨で流した土を補充し、土の表面から露出したショウガが太陽の光を浴びて青くならないよう周りに敷きわらを行いました。ショウガは10月の終わりに収穫を行い、大きさや形などの表彰を行います。今後も同研究会とJA営農指導員が収穫に向けて引き続きアドバイスなど行っていきます。



秦泉寺雅一組合長らが玉串を捧げました。

7月28日、四万十町仁井田に新たに建設するニラ集出荷場建築工事の起工式を行いました。式典には同JAの秦泉寺雅一組合長をはじめJA職員、四万十町長、設計管理、施工業者ら34人が出席し、建設工事の安全を祈願しました。この集出荷施設は同地区ならびに幡多地区の主要品目のニラを、将来にわたり安定的に生産、出荷するための施設として建設しています。建設する集出荷場では、計量、結束、包装作業並びに出荷予冷機能を備えた近代的な施設竣工を目指しています。同地区のニラ集出荷場建設委員の上澤哲猪委員長は「当JAとして、県下の集出荷体制の再編に取り組んだ最初の施設です。稼働までにはしっかりと体制を整え、生産農家に貢献していきたい。」と話しました。同集出荷場の建築工事は来年3月の完成を目指しています。

1 四万十地域 ニラ安定生産へ 集出荷場の起工式

6 津野山地域 高知大丸の 津野町セレクトに出品



津野町セレクトに出品した四万十川源流茶コーナー。

7月27日から8月2日まで、高知大丸のサマーフェスタ内で行われた「津野町セレクト」で津野町の特産品がズラリと勢ぞろいしました。津野山営農経済センターからは「四万十川源流茶」を出品しました。これからの季節にぴったりな水出し冷茶やほうじ茶といった定番商品や、ギフト用のパッケージも提案させていただきました。新型コロナウイルスの再拡大を受け、来客数はやや少なかったですが、津野町の産物をPRするよい機会となりました。今後も生産者の所得増大に向け、販促の機会を活用しPRしていきます。

4 津野山地域 GAP環境点検を実施



環境点検で生産者が説明を受けています。

津野山園芸部では、安心安全な農産物の生産・販売にむけた取組の一環として、管内の全生産農家の圃場と、出荷調整場所・農薬保管庫の状況調査を、行政担当者・振興センターから協力もいただき環境点検を実施しました。基本的な内容から、一歩踏み込んだ内容まで多種多様なチエック項目ですが、大半の生産者が前年より改善が見られ、GAPへの意識の高まりを感じます。毎日の作業の中で、チエックの記入など煩わしさもあるとは思いますが、こうした取組の結果無事故での出荷に繋がり、消費地からの信頼に繋がっています。当たり前を当たり前前で終わらせず、これからも取組を続けていきます！



生産者の説明を熱心に聞く生徒

2 津野山地域 榑原高校 農家のハウスで農業の現状を学ぶ

県立榑原高校の農業コースの学生25名(2・3年生)は、暑さの厳しくなる夏のハウス内での収穫作業を体験しました。今回の品目は「土佐甘とう」管内の高橋亀一郎さんのハウスへお邪魔させていただきました。ハウス内での作業も、甘とうの収穫も初めて。皆真剣に高橋さんの説明に耳を傾けています。収穫を始める時「どれとついでいい？」や「この曲がりは大丈夫？」といった声が聞こえていました。すぐに慣れると懸命に収穫作業を行っていました。この日は、収穫後の選別作業も体験させていただきました。授業を終えて、「土佐甘とうのことを知ることができて良かった」「自分たちが収穫した量でいくらになるかわかった」「農業を始めるのにどれだけ費用がかかるか聞けて良かった」という声が聞かれました。暑い中での作業お疲れ様でした。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

背戸山の静寂^{しじま}をやぶる森蛙
涼やかに若竹ゆれる庭の隅

市川 和美

刈り終へて涼しきシャワー五体刺す
精を出しくちびる辛き野良の汗

長谷部 延子

夏光る峡空結ぶ飛行雲

雷神に我が身責められいるごとし

今橋 孝子

夏の夕歩道を鳩のよぎるかな

子供会耕耘をして芋を植う

竹内 春猪

孫まきしひまわりの花満開に
夏空を二つに分ける飛行雲

田中 信子

短歌

窪川短歌教室

買溜めのもくろみすでに見透かされ値上げされをり水無月待たず

黒岩 やよえ

急に来る目眩は卑怯私を宙に浮かべて何を企む

文野 見枝子

新じゃがにスナップエンドウ玉ねぎと自家菜園の味は格別

中内 佐登美

足弱き小雀なるや電線に足からめつつやと渡りぬ

島岡 紀美

機械音とだえし里のみどり野の茅花をなでる水無月の風

市川 隆子

耳鳴りの調子がふいと切り変わり第三章へ移行のやうな

市川 浩子

連休に帰省の娘に誘われて森のピアノでウクライナの曲きく

北村 さちこ

俳句

おたよりから

風涼し高きに登る鳥の群

(津野町・弘瀬 秀頼)

夕暮れの谷間や合歓^{ねむ}の花明り

(津野町・村田 三喜子)

おのれ生え向日葵ひとつつ淋しそう

(梶原町・松山 松美)

INFORMATION

お知らせ

献茶スタッフ(パート・アルバイト)募集

仕事内容 葬祭会場での準備・接客・掃除等
お通夜等 3,000円 ~
お葬儀 5,000円 ~
*未経験者可
*詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ JAメモリアルこうち四万十営業所
(JA葬祭ルミエール四万十)
四万十町榊山町9-7
TEL 0880-22-5900